

参考文献・参照 HP

- ・間場寿一編, 1998, 『地方文化の社会学』世界思想社.
- ・青木辰司／小山善彦／バーナード・レイン, 2006, 『持続可能なグリーンツーリズム 英国に学ぶ実践的農村再生』丸善.
- ・渥美勝利／市川利夫, 2004, 「雪氷冷熱エネルギー利用と実施例」『BE 建築設備』55(9):66-71.
- ・天笠啓祐, 2007, 『バイオ燃料 畑でつくるエネルギー』コモンズ.
- ・吾孫子正和／岩見沢市経済部利雪対策担当／秋寿文, 2008, 「岩見沢からの発信 省資源型施設園芸への挑戦」『ニューカントリー』656:24-25.
- ・油川英明／吉田純一／四十九智恵子／小澤京子, 1999, 「雪の教材化に関する実践研究 研究協力校との共同研究から」『年報いわみざわ』20:55-62.
- ・飯田哲也, 2000, 『北欧のエネルギーデモクラシー』新評論.
- ・生野正剛／早瀬隆司／姫野順一編, 2003, 『地球環境問題と環境政策』ミネルヴァ書房.
- ・池上佳芳里, 「北陸地方における雪室の分布とその盛衰」『地理科学』54(2):126-137.
- ・石川憲二, 2010, 『自然エネルギーの可能性と限界 風力・太陽光発電の実力と現実解』オーム社.
- ・石川捷治／平井一臣編, 2000, 『地域から問う国家・社会・世界 「九州・沖縄」から何が見えるか』ナカニシヤ出版.
- ・石川理夫, 1991, 「雪“豊かな”町の逆転の発想 雪国文化村をめざす新潟県安塚町」『月刊自治研』33(4):87-95.
- ・石田正昭編, 2008, 『農村版コミュニティ・ビジネスのすすめ 地域再活性化とJAの役割』家の光協会.
- ・石堂徹夫, 2000, 『ムラの欲望 土地改良事業は誰のためか』現代書館.
- ・井田均, 2005, 『主役に立つエコ・エネルギー』緑風出版.
- ・市川健夫, 1992, 「利雪への挑戦 新潟県安塚町」『地理』37(10):81-85.
- ・伊藤勲, 2009, 「輝け雪のまち 北海道沼田町における雪利用の取り組み 雪と共生するまちづくりを目指して」『ゆき』74:18-21.
- ・伊藤勲, 2010, 「『輝け雪のまち』沼田町の利雪の取り組み」『クリーンエネルギー』19(1):70-74.
- ・伊東宏城, 2001, 「自然の断熱材を利用した雪の低コスト貯蔵実験」『日本雪工学会誌』17(2):64-65.
- ・伊藤勲, 2012, 「雪冷熱エネルギーを利用した待ちづくりに挑戦 北海道沼田町の取り組み」『人と国土 21』38(1):30-34.
- ・伊藤親臣, 2003a, 「『雪冷房でいただきます』 安塚町立安塚小学校雪冷房の導入について」『ゆき』52:49-54.
- ・伊藤親臣, 2003b, 「安塚町だより 雪冷熱と太陽熱を町づくりに生かす」『土木学会誌』88(2):68-69.

- ・伊藤親臣, 2005, 「技術報告 日本雪工学会賞を受賞して 安塚における雪の多面的な活用について」『日本雪工学会誌』 21(5):65-68.
- ・伊藤親臣, 2006, 「安塚における雪冷房の取り組み」『BE 建築設備』 57(10):27-32.
- ・伊藤親臣, 2009, 「天からの贈り物『雪・太陽・雨』を組み合わせた『自然エネルギー循環システム』」『ゆき』 74:40-43.
- ・伊東千隆, 2005, 「札幌市における地域熱供給システムの役割 エネルギー有効利用都市をめざして」『空気調和・衛生工学』 79(9):9-17.
- ・岩腰壮康, 1999, 「雪エネルギーを活用した“ぬまた雪中米“をどうぞ 北育ち元気村“ぬまた農業” 21 世紀への橋わたし」『農家の友』 51(8):34-36.
- ・岩田重敏, 2002, 「ブランド物語 3 雪冷蔵で鮮度を保つ雪中米」『地上』 56(8):106-111.
- ・岩見沢市, 2003, 『岩見沢市新エネルギービジョン策定報告書』.
- ・岩見沢市, 2004, 『平成 15 年度 自然地形を生かした脱ヒートアイランド型雪堆積場からの自然融解水の冷熱利用事業調査報告書』.
- ・岩見沢市, 2006=2011a, 『【改訂版】 2006 岩見沢市都市計画マスタープラン みどりと人のつながりでつくる安全・健康・文化都市いわみざわ』.
- ・岩見沢市, 2006=2011b, 『【改訂版】 2006 岩見沢市緑の基本計画 水と緑と「農」を身近に感じる、生き生きとした緑づくり』.
- ・岩見沢市, 2008a, 『人・地域が輝く緑と活力に満ちた文化都市 新岩見沢市総合計画 2008-2017』.
- ・岩見沢市, 2008b, 『人にやさしい温かい街づくり 岩見沢市勢要覧』.
- ・岩見沢市, 2009, 『平成 21 年度成果報告書 バイオマス等未活用エネルギー実証試験事業 「自然地形を活かした雪堆積場からの自然融解水の冷熱利用事業」』.
- ・岩見沢市, 2010, 『平成 21 年度 岩見沢市省エネルギービジョン』.
- ・岩見沢市, 2011a, 『施設園芸への雪冷熱利用データ収集・広報普及事業報告書』.
- ・岩見沢市, 2011b, 『北海道「地域新エネルギー事業化推進事業」採択事業 「雪冷熱エネルギーを活用した岩見沢農産物の生産、保冷、輸送システムの構築・導入実験」 クリーンなエネルギーを導入して 「施設園芸への雪冷熱利用データ収集・広報普及事業」』.
- ・岩見沢市環境部／岩見沢新エネ・省エネ推進協会, 2012, 『環境・エネルギーセミナーin 岩見沢 2012 新エネルギー・省エネルギーを推進して産業の振興を 発表資料集』.
- ・岩見沢市教育委員会, 2009, 『岩見沢市立小中学校 児童会・生徒会 地球温暖化に取り組む環境美化活動紹介カード』.
- ・岩見沢市教育委員会教育部生涯学習振興課, 2012, 『平成 23 年度 土曜ふるさと学校事業開催報告書』.
- ・岩見沢市経済部新産業促進室利雪・親雪対策担当主幹, 2009, 「道路の除排雪による雪山を利用した雪冷房の開発 自然地形を活かした雪堆積場からの自然融解水の冷熱利用事業」『ゆき』 74:22-24.

- ・岩見沢雪氷エネルギー活用検討会，2011，『新エネルギー・省エネルギー取組発表会 in 岩見沢 2011 新エネルギー・省エネルギーを推進して産業の振興を 発表資料集』。
- ・植田和弘，2008，「地球温暖化防止と低炭素社会への課題」『生活協同組合研究』390:7-12.
- ・宇沢弘文，1974，『自動車の社会的費用』岩波新書.
- ・宇沢弘文，2000，『社会的共通資本』岩波新書.
- ・宇田川陽介／柳正秀，2012，「データセンター向け空調システムについて」『冷凍』87(1012):18-23.
- ・内田敦子／佐野武仁／山口温，2007，「日本における雪エネルギー有効活用の実態調査と今後の可能性に関する研究」『2007 年度日本建築学会大会学術講演梗概集』:651-652.
- ・内田敦子／佐野武仁／山品恵，2007，「日本における雪エネルギー有効利用の実態調査と今後の可能性に関する研究」『学苑・生活環境学科紀要』801:47-55.
- ・内田郁男／杉山弘泰／中村洋一，2003，「雪氷冷熱エネルギー有効利用に向けた露天での雪保存実験（長野県飯山市，新潟県小出町）」『日本雪工学会誌』19(2):86-88.
- ・内橋克人，2005，『NHK 人間講座 「共生経済」が始まる』日本放送出版協会.
- ・内橋克人，2009，『共生経済が始まる 世界恐慌を生き抜く道』朝日新聞出版.
- ・宇野重昭／鶴見和子編，1994，『内発的発展と外向型発展 現代中国における交錯』東京大学出版会.
- ・生方秀紀／神田房行／大森享編，2010，『ESD をつくる 地域でひらく未来への教育』ミネルヴァ書房.
- ・生方雅男，2008，「貯雪冷熱を活用した花き栽培技術の実証」『農耕と園芸』63(11):56-58.
- ・浦野慎一，2010，「雪氷冷熱利用の現状と課題」『環境技術』39(3):25-29.
- ・NTT ファシリティーズ研究開発本部環境・エネルギー部門，2012，「外気冷熱を活用して省エネルギーを追求する，IT 装置用外気冷房型空調機の導入開始」『NTT 技術ジャーナル』24(5):34-37.
- ・NPO 北海道自然エネルギー研究会編，2007，『光も風も水も氷も雪もバイオもみんな宝もの 自然エネルギー入門』東洋書店.
- ・大石久和，2005，『国土学』（2005 年度東京大学公共政策大学院公共政策ワークショップ発表資料：<http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/events/workshop/documents/ws20050704.pdf>）
- ・大内幸則／片野浩司／上野仁士／加藤康德／吾田洋一，2011，「社会資本の管理と再生可能エネルギーについて」『寒地土木研究所月報』695:30-38.
- ・大江正章，2008，『地域の力 食・農・まちづくり』岩波新書.
- ・大窪宗麿，2001，「稲作地帯における交換分合事業の展開とその性格 北海道美瑛市を事例に」『農業経済研究（別冊）2001 年度日本農業経済学会論文集』，pp.50-52.
- ・大坂道明，2005，「利雪によるスペシャリストの育成 岩見沢農業高校の取り組み」『農業教育資料』56:10-11.
- ・大島堅一，2010，『再生可能エネルギーの政治経済学 エネルギー政策のグリーン改革に向け

て』東洋経済新報社.

- ・大島堅一, 2011, 『原発のコスト エネルギー転換への視点』岩波新書.
- ・大島耕一／松下正／村上正秀, 1979, 『ヒートパイプ工学』朝倉書店.
- ・大友詔雄編, 2012, 『自然エネルギーが生み出す地域の雇用』自治体研究社.
- ・大野晃, 2008, 『限界集落と地域再生』北海道新聞社.
- ・岡田知弘, 2005, 『地域づくりの経済学入門 地域内再投資力論』自治体研究社.
- ・長安六, 2002, 『地域農業再生の論理 佐賀農業における実証的研究』九州大学出版会.
- ・小澤祥司, 2003, 『コミュニティエネルギーの時代へ』岩波書店.
- ・織田直文, 2005, 『臨地まちづくり学』サンライズ出版.
- ・尾中義之, 2012, 「『雪中米』の輸出拡大を目指し、日本食紹介」『農家の友』64(6):40-41.
- ・小野一, 2012, 「新エネルギー・コンセプトの政治的位置」, 小野一, 『現代ドイツ政党政治の変容 社会民主党、緑の党、左翼党の挑戦』吉田書店, pp.113-138.
- ・小野善康, 2012, 『成熟社会の経済学 長期不況をどう克服するか』岩波新書.
- ・おひさま進歩エネルギー, 2012, 『みんなの力で自然エネルギーを 市民出資による「おひさま」革命』南信州新聞出版局.
- ・科学技術と経済の会監修／エネルギー環境教育研究会編, 2008, 『持続可能な社会のためのエネルギー環境教育 欧米の先進事例に学ぶ』国土社.
- ・郭四志, 2011, 『中国エネルギー事情』岩波新書.
- ・笠松和市／佐藤由美, 2008, 『持続可能なまちは小さく、美しい 上勝町の挑戦』学芸出版社.
- ・柏原精一, 2005, 「雪氷冷熱エネルギー 『天からの小包』の現状と未来」『AIR21: 朝日総研レポート』176:41-47.
- ・嘉田由紀子／槌田劭／山田國廣編, 2000, 『共感する環境学 地域の人びとに学ぶ』ミネルヴァ書房.
- ・片野優, 2008, 『ヨーロッパ環境対策最前線』白水社.
- ・角一典, 2009, 「冷熱エネルギーによるまちづくりに関する考察」『北海道教育大学旭川校社会学研究室調査報告』6:85-95.
- ・角一典, 2010a, 「美唄の歴史 昭和期までの産業の推移を中心に」『北海道教育大学旭川校社会学研究室調査報告』7:1-10.
- ・角一典, 2010b, 「美唄農業の現状と JA びばいの利雪」『北海道教育大学旭川校社会学研究室調査報告』7:11-18.
- ・角一典, 2010c, 「美唄市内の雪冷房施設」『北海道教育大学旭川校社会学研究室調査報告』7:19-26.
- ・角一典, 2010d, 「冷熱エネルギーによるまちづくりに関する考察 美唄市の取り組みから」『北海道教育大学旭川校社会学研究室調査報告』7:39-50.
- ・角一典, 2011a, 「冷熱エネルギー利用の現状と可能性 北海道沼田町と北海道美唄市の取り組みから」『環境社会学研究』17:171-179.

- ・角一典, 2011b, 「やっかい者を資源・エネルギーへ 雪冷房の現状と未来」道民カレッジ「ほっかいどう学」大学放送講座実行委員会監修, 『平成 23 年度版 道民カレッジほっかいどう学大学放送講座テキスト』 pp.13-19.
- ・角一典, 2011c, 「冷熱エネルギーによるまちづくり再考」『北海道教育大学旭川校社会学研究室調査報告』 8:58-71.
- ・角一典, 2012, 「冷熱エネルギーによるまちづくりに関する考察 岩見沢市における取り組みから」『北海道教育大学旭川校社会学研究室調査報告』 9:64-77.
- ・蟹江好弘, 2002, 「雪だるま財団による全町活性化計画 新潟県安塚町における廃校活用事例」『足利工業大学研究集録』 35:69-74.
- ・蟹江好弘／吉田佳代, 2002, 「廃校を利用した全町活性化計画 新潟県安塚町の“雪だるま財団”による町づくり」『2002 年度日本建築学会大会学術講演梗概集』 :667-668.
- ・金子勝, 2011, 「平成の『属国』化 TPP の嘘」『世界』 824:33-39.
- ・金子勝／アンドリュー・デヴィッド, 2007, 『環境エネルギー革命』アспект.
- ・金子幸江, 2002a, 「雪国、北海道美唄市における雪利用の取組み 民主導による雪冷房の導入について」『ゆき』 47:54-59.
- ・金子幸江, 2002b, 「『雪は白いダイヤ』 北海道美唄市における自然冷熱エネルギーへの取り組み」『人と国土 21』 28(1):26-30.
- ・金子幸江, 2002c, 「美唄市、農業への雪利用 『雪は白いダイヤ、無限の資源』『農家の友』 54(8):108-110.
- ・金子幸江, 2003, 「雪は白いダイヤ、雪サミット 2002 in びばい 一輝け雪！雪国新エネルギー元年到来！」『北方圏』 123:16-19.
- ・金子幸江, 2004, 「石炭の『黒ダイヤ』から雪の『白ダイヤ』へ 美唄自然エネルギー研究会」『土木施工』 45(12):54-56.
- ・金子幸江, 2009a, 「黒ダイヤから白ダイヤへ 美唄市利雪産業クラスター形成に向けて」『計画行政』 32(2):95-98.
- ・金子幸江, 2009b, 「黒ダイヤから、雪の白ダイヤへ 『世界初、美唄発！雪冷房マンション』導入について」『ゆき』 74:28-32.
- ・上治堂司／竹下登志成, 2007, 『ゆずと森を届ける村 馬路村』自治体研究社.
- ・川合紀章, 2003, 「雪氷冷熱を活用した北海道農産物流通の変革」『北方圏』 123:12-15.
- ・川原誠, 2002, 「ドイツにおける地球環境問題とエネルギー対策」『JETRO ユーロトレンド』 2002.9:16-23.
- ・菊地香, 2009, 『島嶼におけるさとうきび生産 その経営方式とバイオマス利用』農林統計協会.
- ・岸部信吾／高橋裕弥／中澤聖貴, 2003, 『雪冷房システムと氷蓄熱冷房システムの比較と将来性評価』2002 年度北海道工業大学卒業論文.
- ・北の交差点編集部, 「地域の話 1 美唄発、利雪産業クラスター形成に向けて！ 黒いダイ

- ヤから白いダイヤへ」『北の交差点』24:28-29.
- ・木船久雄／西村陽／野村宗訓編，2010，『低炭素社会のビジョンと課題 エネルギー・環境・ネットワークの結節点を探る』晃洋書房.
 - ・木村賢人／辻修／宗岡寿美，2012，「北海道における雪氷冷熱利用」『水土の知：農業農村工学会誌』80(6):453-456.
 - ・金龍史子，2006，『熱供給事業の冷熱源としての雪氷冷熱エネルギー』2005 年度中央大学経済学部卒業論文.
 - ・楠戸伊織里，2012，『放射性廃棄物の憂鬱』祥伝社新書.
 - ・熊谷宏／大谷忠編，2009，『飼料米の生産と豚肉質の向上 飼料自給率の改善と資源循環型地域の構築に向けて【産官学連携実際研究の記録】』農林統計出版.
 - ・熊本博之，2008，「環境正義の観点から描き出される『不正義の連鎖』 米軍基地と名護市辺野古区」『環境社会学研究』14:219-233.
 - ・黒井克行，2009，「【美唄・雪山賛歌】 “やっかいもの” を利用する“利雪” の発想」『翼の王国』483:71-78.
 - ・経済産業省資源エネルギー庁編，2007，『最新エネルギー基本計画 エネルギー安全保障・経済成長・地球温暖化への総合的アプローチ』経済産業調査会.
 - ・経済産業省北海道経済産業局エネルギー対策課，2011，「『雪氷グリーン熱証書』制度のご紹介 ビジネスで活用しよう！雪氷冷熱の環境価値」『ゆき』85:2-5.
 - ・月刊食糧ジャーナル編集部，「特集／北海道雪中米 もうひとつの産地形成『地域のこだわり』」『月刊食糧ジャーナル』24(3):57-59.
 - ・ケンジ・ステファン・スズキ，2003=2006，『増補版 デンマークという国 自然エネルギー先進国 「風のがっこう」からのレポート』合同出版.
 - ・小池浩一郎，2002，「バイオエネルギーからみた社会認識の潜勢力 分権化が開くエネルギー転換の可能性」『環境社会学研究』8:54-72.
 - ・広報ほくれん編集部，2012，「新農力発見 雪エネルギーを活用した『利雪型農業』に挑戦 沼田町・JA 北いぶき沼田支所」『広報ほくれん』354:26-29.
 - ・国土審議会北海道開発分科会企画調査部会，2002a，「国土審議会北海道開発分科会企画調査部会中間とりまとめ参考資料」
(<http://www.mlit.go.jp/singikai/kokudosin/hokkaido/2/images/sankoushiryou4.pdf>).
 - ・国土審議会北海道開発分科会企画調査部会，2002b，「国土審議会北海道開発分科会企画調査部会報告（案）」
(<http://www.mlit.go.jp/singikai/kokudosin/hokkaido/kikaku/7/images/shiryou5.pdf>).
 - ・小林聡，2003，「克雪・利雪の住まいづくり、まちづくり」『住宅』52(1):25-29.
 - ・小林剛，1994，「新潟県安塚町 豪雪を逆手にとった町おこし」『エコノミスト』72(17):72-78.
 - ・小林俊和，2008，『現代のエネルギー・環境政策 分権型福祉社会の文化的開発と環境制御』晃洋書房.

- ・ 小林久, 2013, 「小水力発電の可能性と普及に向けた課題」『生活協同組合研究』 445:21-30.
- ・ 媚山政良, 1996, 「北海道の利雪」『雪氷』 58(6):481-483.
- ・ 媚山政良, 2001a, 「雪資源の石油エネルギー換算」『冷凍』 890:1042-1045.
- ・ 媚山政良, 2001b, 「雪冷熱の空調への応用 『21 世紀のクリーン・エネルギー・ワールド・雪国』 へようこそ」『日本機械学会 2001 年度年次大会講演資料集 (VII)』 :422-423.
- ・ 媚山政良, 2002, 「雪氷冷熱が新エネルギーの仲間入り」『化学工業』 66(8):488-489.
- ・ 媚山政良, 2003, 「利雪と穀類の長期貯蔵」『情報地質』 14(2):106-110.
- ・ 媚山政良, 2005, 「“夏の雪” 雪氷冷熱エネルギー資源」『日本機械学会誌』 1045:38-39.
- ・ 媚山政良, 2004, 「利雪の現状と展望」『建設の施工企画』 657:4-9.
- ・ 媚山政良, 2006, 「利雪と環境保全」『日本雪工学会誌』 22(1):35-40.
- ・ 媚山政良, 2008a, 「雪冷熱利用システムの開発の現況と展望」『太陽エネルギー』 34(3):37-40.
- ・ 媚山政良, 2008b, 「インタビュー雪とわたし 雪氷冷熱エネルギーの新たな展開に向けて 『雪には、私たちが想像もつかない能力がまだまだある』 『ゆき』 73:5-11.
- ・ 媚山政良, 2011, 「自然冷熱蓄熱媒体“雪氷” 扱いやすいのは雪か氷か？」『混相流』25(1):28-35.
- ・ 媚山政良／山上重吉, 2002, 「地域資源としての雪の農業利用」『農業土木学会誌』70(4):285-288.
- ・ 今野忠一, 1998, 「美唄市の交換分合事業の取り組み」『北方農業』 48(2):13-16.
- ・ 今野乃光, 2012, 「新千歳空港における雪冷熱供給事業の現状と今後への課題」『ふえらむ：日本鉄鋼協会会報』 17(6):349-354.
- ・ 斎藤修, 2007, 『食料産業クラスターと地域ブランド 食農連携と新しいフードビジネス』 農文協.
- ・ 斎藤丈士, 2003, 「北海道の大規模稲作地帯における農地流動と農家の階層移動 北空知地方・沼田町の事例を中心として」『経済地理学年報』 49(1):19-40.
- ・ 坂内久／大江徹男編, 2008, 『燃料か食料か バイオエタノールの真実』 日本経済評論社.
- ・ 盛一剛, 2004, 『雪氷エネルギーによる米貯蔵の経済性に関する研究』 2003 年度札幌大学大学院経済学研究科修士論文.
- ・ 佐々木賢知／媚山政良／岸波紘機／矢野潔／伊東宏城, 2007, 「雪山横穴空洞式熱交換システムの開発に関する研究 イチゴ育苗ハウスへの雪冷房システムの利用」『日本雪工学会誌』 23(1):13-22.
- ・ 佐々木晴美, 2005, 「地球上に広く分布する慣例地域の開発・発展を目指して 21 年ぶりに北海道の里帰りした『第 7 回寒冷開発に関する国際シンポジウム (ISCORD 2004)』」『北方圏』 131:26-31.
- ・ 佐々木雅幸, 1994, 『ブックレットシリーズ「21 世紀を地方自治の時代に！」 ⑦ 都市と農村の内発的発展』 自治体研究社.
- ・ 佐藤由美, 2000, 「21 世紀型エネルギーが地域を変える 12 雪国のまちづくりで可能性を広げる雪の冷熱エネルギー 北海道沼田町・美唄市」『晨』 19(6):90-93.
- ・ 佐藤由美, 2003, 『自然エネルギーが地域を変える まちづくりの新しい風』 学芸出版社.

- ・佐保圭, 2004, 「新エネルギーに懸ける故郷復興への思い 永桶裕明ノルドファブリカ会長」『日経ベンチャー』235:49-52.
- ・澤田行雄, 1977, 「創造性豊かな人間像の形成を 北海道沼田町の構改事業を通して」『農業と経済』43(13):35-38.
- ・志賀聡, 2005, 「北海道岩見沢農業高等学校における雪冷熱を利用した農産物生産1年目の研究開発」『教育委員会月報』57(2):14-17.
- ・敷田麻実編, 2008, 『地域からのエコツーリズム 観光・交流による持続可能な地域づくり』学芸出版社.
- ・資源エネルギー庁, 2007a, 「私たちの暮らしとエネルギー」.
- ・資源エネルギー庁, 2007b, 「ススめ、ススめ。新エネライフ!」.
- ・資源エネルギー庁, 2008-2010, 『日本のエネルギー (各年度)』.
- ・資源エネルギー庁, 2011, 「電源立地制度の概要 (平成23年度版)」.
- ・篠田久雄／下総裕輔／相原秀起, 1998, 『雪に輝くコメ 北海道・沼田町の挑戦』北海道新聞社.
- ・篠田久雄, 1999, 『地方自治土曜講座ブックレット46 これからの北海道農業とまちづくり』公人の友社.
- ・篠原隆弘, 2002, 「地域社会とまちづくり」, 木下謙治／篠原隆弘／三浦典子編, 『シリーズ〔社会学の現在〕2 地域社会学の現在』ミネルヴァ書房, pp.252-275.
- ・篠山浩文, 2008, 『生物資源を活かしたまちづくり 山武町バイオマスタウン構想からの発信』千葉日報社.
- ・清水徹朗, 2012, 「小水力発電の現状と普及の課題」『農林金融』65(10):2-20.
- ・シュラーズ, M.A., 2011, 『ドイツは脱原発を選んだ』岩波ブックレット.
- ・商工会編集部編, 2004, 「まちづくり事例紹介③ イベントとスローライフによるまちづくり 厄介物の雪の克服が町民の自信に 新潟県安塚町」『商工会』45(9):16-18.
- ・東海林俊治, 2003, 「やっかいな雪も使いようでエネルギー源に 世界初の雪冷房マンション」『ボイラ研究』318:24-27.
- ・食料白書編集委員会編, 2009, 『2008 年度版食料白書 食料とエネルギー 地域からの自給戦略 エタノールによる資源利用の競合と今後の方向』農山漁村文化協会.
- ・新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) エネルギー対策推進部, 2008, 『新エネルギーガイドブック 2008』.
- ・新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO), 2007, 『太陽熱高度利用システムフィールドテスト事業設置事例集 (平成18年度)』.
- ・新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO), 2009, 『新エネ百選 日本初の選定事業集』.
- ・新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO), 2009, 『バイオマス等未活用エネルギー実証実験事業 自然地形を活かした雪堆積場からの自然融解水の冷熱利用事業』.
- ・鈴木勝治, 2009, 「雪冷熱によるイチゴの育苗環境改善」『東北農業研究』62:167-168.

- ・ 鈴木重男, 2001, 『ワインとミルクで地域おこし 岩手県葛巻町の挑戦』 創森社.
- ・ 生協総合研究所編, 2009a, 「特集: 日本農業と食料自給率」『生活協同組合研究』 399:4-48.
- ・ 生協総合研究所編, 2009b, 「特集: 農産物供給はいま」『生活協同組合研究』 403:4-40.
- ・ 生協総合研究所編, 2010a, 「特集: 日本農業・農村と直接支払い」『生活協同組合研究』411:4-50.
- ・ 生協総合研究所編, 2010b, 「特集: 環境問題が提起する今日的な課題と対策」『生活協同組合研究』 413:4-50.
- ・ 生協総合研究所編, 2011, 「特集: 明日の農業の担い手像」『生活協同組合研究』 422:4-55.
- ・ 生協総合研究所編, 2012, 「特集: 福島原発事故以後のエネルギー問題を考える」『生活協同組合研究』 433:4-52.
- ・ 関幸子／関康秀, 2005, 「利雪型住宅『幸雪館』の建築と2004年夏の冷房効果」『雪国環境研究』 11:17-22.
- ・ 関満博編, 2009, 『「エコタウン」が地域ブランドになる時代』 新評論.
- ・ 関満博／及川孝信編, 2006, 『地域ブランドと産業振興 自慢の銘柄づくりで飛躍した9つの市町村』 新評論.
- ・ 関満博／遠山浩編, 2007, 『「食」の地域ブランド戦略』 新評論.
- ・ 関満博／長崎利幸編, 2003, 『市町村合併の時代 中山間地域の産業振興』 新評論.
- ・ 関満博／古川一郎編, 2008, 『中小都市の「B級グルメ」戦略 新たな価値の創造に挑む10地域』 新評論.
- ・ 関満博／古川一郎編, 2009, 『「ご当地ラーメン」の地域ブランド戦略』 新評論.
- ・ 関口圭輔, 2012, 「モニタリングを活用したデータセンタ空調の省エネルギー技術」『冷凍』 87(1013):27-31.
- ・ 惣田昱夫編, 2007, 『世界初のバイオマス村ドイツ・ユンデを訪ねて コストから見たバイオマス発電』 ブイツーソリューション.
- ・ 空知支庁／そらち・エコプロジェクト推進協議会, 2007, 『雪氷冷熱エネルギー普及促進事業報告書』.
- ・ 宋基昊 (金哲洙／姜暲求訳), 2012, 『恐怖の契約米韓 FTA TPP で日本もこうなる』 農文協.
- ・ 田浦健朗, 2008, 「市民・NGO が取り組む地球温暖化防止」『生活協同組合研究』 390:28-35.
- ・ 多方一成, 2006, 『スローライフ・スローフードとグリーンツーリズム』 東海大学出版会.
- ・ 高橋博, 2000, 「低温貯蔵の『雪中米』が人気 北海道沼田町農業協同組合」『農林経済』9282:8-9.
- ・ 高橋正郎監修／全国農業協同組合中央会編, 1985, 『村を活かす 地域加工産業の新しい波』 筑波書房.
- ・ 高橋若菜, 2011, 「スウェーデン都市部における家庭系生ごみ分別収集施策 マルメ市・ヘルシンボリ市の取組を事例として」『宇都宮大学国際学部研究論集』 31:117-128.
- ・ 高原一隆, 2008, 『ネットワークの地域経済学 小さな会社のネットワークが地域をつくる』 法律文化社.
- ・ 高村ゆかり, 2008, 「2013年以降の地球温暖化防止の国際的枠組みをめぐる交渉の課題」『生

- 活協同組合研究』390:13-20.
- ・滝川薫／村上敦／池田憲昭／田代かおる／近江まどか，2012，『100%再生可能へ！ 欧州のエネルギー自立地域』学芸出版社.
 - ・滝澤嘉史，2009，「雪をエネルギーに変えて 黒いダイヤから白いダイヤへ」『コンサルタンツ北海道』119:8-11.
 - ・竹井巖，2004，「金沢の氷室と雪氷利用」『北陸大学紀要』28:49-62.
 - ・竹井巖，2006，「石川県における明治大正期の氷室と雪氷利用」『北陸大学紀要』30:107-120.
 - ・竹井巖／神田健三／小川弘司，2009，「石川県の氷室（雪室）の調査リスト」『北陸大学紀要』33:109-124.
 - ・竹内淳彦，1996，『工業地域の変動』大明堂.
 - ・武本昌史，2011，「盛り上がる『利雪』事業。住宅冷房に食糧貯蔵、特産品も（北海道美唄市、沼田町）」『経済界』46(4):82-83.
 - ・田代洋一，2004，『暮らしのなかの食と農 16 WTO と日本農業』筑波書房ブックレット.
 - ・田中直，2012，『適正技術と代替社会 インドネシアでの実践から』岩波新書.
 - ・田林明／菊地俊夫／松井圭介編，2009，『日本農業の維持システム』農林統計出版.
 - ・多辺田政弘／藤森昭／梶淵俊子／久保田裕子，1986，『地域自給と農の論理 生存のための社会経済学』学陽書房.
 - ・玉野井芳郎，1978，『エコノミーとエコロジー 広義の経済学への道』みすず書房.
 - ・玉野井芳郎／清成忠男／中村尚司編，『地域主義 新しい思潮への理論と実践の試み』学陽書房.
 - ・玉野井芳郎／坂本慶一／中村尚司編，1984，『いのちと " 農 " の論理 都市化と産業化を超えて』学陽書房.
 - ・Chi, S.W. (大島耕一他共訳)，1978，『ヒートパイプの理論と応用』ジャテック出版.
 - ・地域振興整備公団，1994，『地域振興整備公団 20 年史』ぎょうせい.
 - ・対馬勝年／谷井文夫，1994，「断熱材による雪山の融雪制御」『日本雪工学会誌』10(1):22-31.
 - ・土谷富士夫，2009，「帯広市八千代地域におけるヒートパイプを利用した大型実用低温貯蔵庫の開発」『北海道自然エネルギー研究』6:15-22.
 - ・土谷富士夫／了戒公利，1996，「冷熱エネルギーを利用した凍土低温貯蔵システム」『農業土木学会誌』64(3):19-23.
 - ・土谷富士夫／了戒公利，2009，『人工永久凍土低温貯蔵庫の開発とその経時変化に関する研究』.
 - ・鶴田由紀，2011，「風力発電の実態」『北海道の自然』49:104-113.
 - ・鶴見和子，1996，『内発的発展論の展開』筑摩書房.
 - ・デヴィッド・A，2011，「低コストで持続可能な経済社会への政治経済」『生活協同組合研究』428:20-27.
 - ・手作りエネルギー研究会編，2005，『自然エネルギー大全』家の光協会.
 - ・トインビー・A.，1957，「原子力時代におけるデモクラシー」，トインビー・A. (=松本重治

- 訳),『歴史の教訓』岩波書店, pp.129-153.
- ・ トッド・E／リスト・F／トッド・D／グレオ・J-L／サピール・J／松川周二／中野剛志／西部邁／関曠野／太田昌国／関良基／山下惣一, 2011,『自由貿易という幻想 リストとケインズから「保護貿易」を再考する』藤原書店.
 - ・ 長崎福三, 1994,『肉食文化と魚食文化 日本列島に千年住みつづけられるために』農文協.
 - ・ 中嶋秀明, 2009,「雪を利用した環境施策(クールプロジェクト) 新千歳空港における BOD 低減と CO₂削減」『ゆき』74:44-47.
 - ・ 中田哲也, 2001,「『フード・マイレージ』試算について」『農林水産政策研究所レビュー』2:44-50.
 - ・ 中田哲也, 2003,「食料の総輸入量・距離(フード・マイレージ)とその環境に及ぼす付加に関する考察」『農林水産政策研究』5:45-59.
 - ・ 中田哲也, 2004,「食料の総輸入量・距離(フード・マイレージ)とその環境に及ぼす付加に関する考察」『農林水産政策研究所レビュー』11:9-15.
 - ・ 中田哲也, 2011,「最近の日本の輸入食料のフード・マイレージの変化とその背景 フード・マイレージからみた食料輸入構造の変化に関する考察」(2011 年度日本フードシステム学会大会報告資料: http://members3.jcom.home.ne.jp/foodmileage/110619_gakkai.pdf)
 - ・ 中田実, 1993,『地域共同管理の社会学』東信堂.
 - ・ 中西準子, 1995,『環境リスク論 技術論からみた政策提言』岩波書店.
 - ・ 中野剛志, 2009,『自由貿易の罠 覚醒する保護主義』青土社.
 - ・ 中野剛志, 2011,『TPP 亡国論』集英社新書.
 - ・ 中村剛治郎, 2000,「内発的発展論の発展を求めて」『政策科学』7(3):139-161.
 - ・ 中村太和, 2001,『自然エネルギー戦略 “エネルギー自給圏”の形成と市民自治』自治体研究社.
 - ・ 中村靖彦, 2000,『農林族 田んぼのかげに票がある』文春新書.
 - ・ 中村靖彦, 2011,『日本の食糧が危ない』岩波新書.
 - ・ 中村洋一／栗原哲／杉山弘泰, 2004,「雪氷冷熱エネルギー有効利用の取り組み」『電力土木』309:71-75.
 - ・ 中山忠彦, 2006,「あのマチこのムラ・地域おこし活躍中 46 沼田町の事例 北空知を代表する農業地帯で新たな地域発展への挑戦」『地域と農業』63:43-52.
 - ・ 西川潤編, 2001,『アジアの内発的発展』藤原書店.
 - ・ 西澤秀枝, 1996,「雪は天からの贈物 雪を通しての町づくり」『AFF』27(1):8-11.
 - ・ 西川一誠, 2009,『「ふるさと」の発想 地方の力を活かす』岩波新書.
 - ・ 西村一郎, 2007,「ピークオイル論について」『生活協同組合研究』384:46-53.
 - ・ 日本雪工学会編,「特集 1 今こそ、雪エネルギーの有効活用」『日本雪工学会誌』27(4):22-45.
 - ・ 沼田町, 1995,『沼田町百年史』ぎょうせい.
 - ・ 沼田町, 2000,『沼田町食料貯蔵流通基地構想』.
 - ・ 沼田町, 2002,『新世紀ぬまたプラン 21 第 4 次沼田町総合計画書』.

- ・沼田町, 2007, 「ゆきと共生するまち 取組み紹介」.
- ・沼田町地域開発課, 2007, 「沼田式雪山センタープロジェクトの実現に向けて 沼田町における雪利用の取り組み」『人と国土』32(5):40-43.
- ・沼田町／北海道経済産業局／新エネルギー・産業技術総合開発機構, 2010, 『北国の底力 雪から未来を考える 新エネ百選記念セミナーin 沼田／第6回雪山シンポジウム 2010 厳冬 in 沼田&記念講演会予稿集』.
- ・沼田町教育委員会, 2008a, 『小学校社会科副読本 わたしたちの沼田』.
- ・沼田町教育委員会, 2008b, 『平成20 年度 沼田の教育』.
- ・沼田小学校, 2003, 『子供の主体的な学びを拓く学習の在り方 総合的な学習の時間を通して』.
- ・農家の友編集部, 2008, 「雪氷エネルギーを活用しよう 長さ 210m、幅 70m、高さ 16m の巨大雪山で雪氷エネルギーを利用 伊藤勲さんに聞く」『農家の友』60(10):30-32.
- ・農業委員会北海道連合会編, 1998, 「美唄市の交換分合事業の取り組み」『北方農業』48(2):13-16.
- ・農村集落研究会, 1979, 『水田単作のむらの展開構造 美唄市「中村」小史』北海道農業会議.
- ・農文協文化部編, 1987, 『地域形成の原理』農文協.
- ・農林水産省札幌統計情報事務所岩見沢出張所, 1984, 『美唄の農業』.
- ・野村恵智雄, 1994, 「信州の氷室」『長野』176:35-45.
- ・蓮見音彦編, 2007, 『講座社会学 3 村落と地域』東京大学出版会.
- ・長谷川公一, 2011, 『脱原子力社会へ 電力をグリーン化する』岩波新書.
- ・畑山敏夫, 2012, 『フランス緑の党とニュー・ポリティクス 近代社会を超えて緑の社会へ』吉田書店.
- ・服部信司, 2009, 『価格高騰・WTO とアメリカ 2008 年農業法』農林統計出版.
- ・羽山広文／坂本敏一, 2005, 「農業施設 雪氷冷熱利用による新しい農業生産・流通の展開」『空気調和・衛生工学』79(9):51-57.
- ・羽山広文／坂本敏一／絵内正道／菊田弘輝, 2006, 「農業施設における雪氷冷熱エネルギー利用」『日本建築学会北海道支部研究報告集』79:247-250.
- ・原田四郎, 1998, 『森は光り輝く 北海道下川町再興の記録』牧野出版.
- ・東三郎, 1999, 『森づくりの技と心』ギミック.
- ・東三郎, 2007, 『地変林遷』森林空間研究所.
- ・東三郎, 2009, 「最北の海岸に育った森 稚内メークマ海岸林」『モーリー』20:18-20.
- ・東三郎, 2010=2012, 『北海道限定 私の森林再生論【改訂版】』アイムス森づくり研究所.
- ・東三郎, 2011, 『愛夢巢の森（創刊号）』アイムス森づくり研究所.
- ・東三郎, 2012a, 『愛夢巢の森（第2号）』アイムス森づくり研究所.
- ・東三郎, 2012b, 『水と緑の地象空間論』アイムス森づくり研究所.
- ・東三郎, 2012c, 『カミネッコンワーク』アイムス森づくり研究所.
- ・東三郎, 2012d, 「研修資料 ハードルフェンス制風機能 野外観察 模型実験」アイムス森づくり研究所.

- ・ 東三郎, 2012e, 「研修資料 羊蹄治山の技術原理」アイムス森づくり研究所.
- ・ 樋口利明, 2002, 「『利雪の家』建てて暮らして 14 年 (報告) と今後 (所感)」『ゆき』47:69-77.
- ・ 美唄市, 1980, 『市制施行三十年の歩み』.
- ・ 美唄市, 1991a, 『美唄市百年史』.
- ・ 美唄市, 1991b, 『美唄市百年史 資料編』.
- ・ 美唄市, 1999, 『美唄市農業・農村発展ビジョン 共に創る魅力ある美唄農業・農村』.
- ・ 美唄市, 2001a, 『美唄 21 世紀まちづくりプラン 第 5 期美唄市総合計画』.
- ・ 美唄市, 2001b, 『写真で見る美唄の 20 世紀』.
- ・ 美唄市, 2003, 『美唄市地域新エネルギービジョン』.
- ・ 美唄市, 2006, 『美唄 21 世紀まちづくりプラン 第 5 期美唄市総合計画後期基本計画 (平成 18 年度～平成 22 年度)』.
- ・ 美唄市企画調整課編, 1979, 『美唄の屯田兵』.
- ・ 美唄市教育委員会, 1992=2008, 『小学校社会科 3.4 年副読本 びばい【改訂版】』.
- ・ 美唄自然エネルギー研究会, 1997-2009, 『研究活動報告書 (各年度)』.
- ・ 美唄自然エネルギー研究会, 2004, 『利雪技術最前線 2004』.
- ・ 美唄市農業協同組合, 出版年不詳, 「JA びばい 農協のご案内」.
- ・ 平松守彦, 1983, 『テクノポリスへの挑戦 頭脳立県をめざす大分』日本経済新聞社.
- ・ 広井良典, 2001, 『定常型社会 新しい「豊かさ」の構想』岩波新書.
- ・ 広井良典, 2006, 『持続可能な福祉社会 「もうひとつの日本」の構想』ちくま新書.
- ・ 福本豊, 2008, 『クリーン電力を活用したまちづくりの可能性 ―地域からつくる循環型社会―』2007 年度北海道教育大学旭川校生涯教育課程卒業論文.
- ・ 藤井石根監修／フォーラム人権・平和・環境編, 2005=2007, 『増補改訂版 二〇五〇年自然エネルギー一〇〇% エコ・エネルギー社会への提言』時潮社.
- ・ 藤垣裕子, 2003, 『専門知と公共性 科学技術社会論の構築へ向けて』東京大学出版会.
- ・ 藤野信之, 2005, 「米流通制度改革と米価の動向」『農林金融』58(3):36-51.
- ・ フリードリヒ・エーベルト財団編, 2012, 「ドイツの脱原発のシナリオ」.
- ・ 北海道, 2007, 『北海道産炭地域産業振興方針』.
- ・ 北海道開発局農業水産部, 1977, 『北空知地域における土地改良の展開と効果 大規模農業投資総合効果測定調査』.
- ・ 北海道教育大学旭川校社会学研究室編, 2009, 『北海道教育大学旭川校社会学研究室調査報告 6 冷熱エネルギーによるまちづくりの現状と課題 北海道沼田町における取り組みを中心に』.
- ・ 北海道教育大学旭川校社会学研究室編, 2010, 『北海道教育大学旭川校社会学研究室調査報告 7 冷熱エネルギーによるまちづくりの現状と課題Ⅱ 北海道美唄市における取り組みを中心に』.
- ・ 北海道教育大学旭川校社会学研究室編, 2011, 『北海道教育大学旭川校社会学研究室調査報告

- 8 冷熱エネルギーによるまちづくりの現状と課題Ⅲ 沼田町・美唄市における取り組み』。
- ・北海道教育大学旭川校社会学研究室編，2012，『北海道教育大学旭川校社会学研究室調査報告 9 冷熱エネルギーによるまちづくりの現状と課題Ⅳ 岩見沢市における取り組み』。
 - ・北海道経済産業局，2007，「北海道のエネルギー消費動向について 地域のエネルギー消費の現状からわかること」。
 - ・北海道経済産業局，2008a，『COOL ENERGY4 雪氷熱エネルギー活用事例集 4』。
 - ・北海道経済産業局，2008b，「雪氷熱エネルギー小規模活用モデルシステム集」。
 - ・北海道経済産業局，2008c，「あなたも参加！ 新エネルギーのツボ」。
 - ・北海道経済産業局，2008d，「北海道新エネルギーマップ 2008」。
 - ・北海道経済産業局，2008e，「『企業立地促進法』の取り組み状況」。
 - ・北海道経済産業局，2008，「北海道経済の現状と展望」。
 - ・北海道経済産業局，2010a，「COOL ENERGY4 雪氷熱エネルギー活用事例集 4【増補版】」。
 - ・北海道経済産業局，2010b，「北海道経済産業局における低炭素社会づくり 5つの重点」
(http://www.hkd.meti.go.jp/hokni/h22lc_juten/torikumi5.pdf)。
 - ・北海道経済産業局，2011a，「雪氷グリーン熱証書制度に適用可能な簡便な冷熱量計測法の確立に関する調査」(<http://www.hkd.meti.go.jp/hokne/20110601/20110601report2.pdf>)。
 - ・北海道経済産業局，2011b，「積雪寒冷地固有のグリーン価値の全国活用を実現する『雪氷グリーン熱証書市場』拡大方策調査」
(<http://www.hkd.meti.go.jp/hokne/20110601/20110601report1.pdf>)。
 - ・北海道経済産業局，2011c，「ビジネスで活用しよう！ 雪氷冷熱の環境価値 『雪氷グリーン熱証書』のご紹介」(http://www.hkd.meti.go.jp/hokne/seppyogreen_p/pamphlet.pdf)。
 - ・北海道経済産業局，2012，『COOL ENERGY5 雪氷熱エネルギー活用事例集 5』。
 - ・北海道経済産業局地域資源部新エネルギー対策課，2002，「新エネルギー開発 北海道における雪氷冷熱エネルギーの活用について」『CEL』60:55-59。
 - ・北海道経済産業局／新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）北海道支部，2008，「北海道新エネルギーマップ 2008」。
 - ・北海道経済産業局／新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）北海道支部，2009，「北海道新エネルギーマップ 2009」。
 - ・北海道経済部，2004，『北海道の石炭鉱業と産炭地域』。
 - ・北海道経済部，2008，「企業立地ハンドブック」。
 - ・北海道産炭地域振興センター，2008a，『平成 19 年度 事業報告書 収支決算書』。
 - ・北海道産炭地域振興センター，2008b，『平成 20 年度 事業計画書 収支予算書』。
 - ・北海道新聞社編，2008，『検証 拓銀破たん 10 年』北海道新聞社。
 - ・北海道農業会議／美唄市農業委員会，1979，『農業近代化と集落・生産組織の課題と今後の展望 美唄市・中村地区の事例』。
 - ・星野智，2009，『環境政治とガバナンス』中央大学出版部。

- ・保母武彦, 1996, 『内発的発展と日本の農山村』岩波書店.
- ・保母武彦, 1999, 『内発的発展による地域産業の振興』地方自治土曜講座ブックレット.
- ・保母武彦／河合博司／佐々木忠／平岡和久, 2007, 『夕張 破綻と再生 ―財政危機から地域を再建するために』自治体研究社.
- ・本田宏, 2005, 『脱原子力の運動と政治 日本のエネルギー政策の転換は可能か』北海道大学図書刊行会.
- ・本間慎、2008, 「地球温暖化と食料」『生活協同組合研究』390:21-27.
- ・本間弘達, 2011, 「自然の力でシステム運用を省エネ 雪を使ってサーバを冷却するホワイト・データ・センタの仕組み」『デジタル・デザイン・テクノロジー』11:114-123.
- ・本間弘達, 2012, 「雪国の未来を拓く雪氷利用技術『雪冷房』」『経営実務』67(9):20-27.
- ・本間弘達／媚山政良／岸浪紘機／野田恒／伊東宏城／伊藤親臣, 2007, 「パッケージ型可搬式雪冷房装置の開発 冷水循環型散水式装置の試作と実証試験」『日本雪工学会誌』23(1):23-33.
- ・本間弘達／上田徹／媚山政良／佐々木賢知／佐藤秀幸／阿部行雄, 2008, 「雪山断熱材としての木質チップ材の基礎性能に関する実験報告」『第24回寒地技術シンポジウム論文・報告集』.
- ・本間弘達／館下誠／川本周朗／媚山政良／金子幸江／新家憲, 2008, 「トラフを利用した風洞式雪山空気冷房の実験報告」『第24回寒地技術シンポジウム論文・報告集』.
- ・本間弘達／土谷富士夫／川村周三／小嶋英生／岡田啓嗣／中村和喜, 2009, 「雪山を利用した既存米倉庫の雪冷房に向けた実験報告」『第25回寒地技術シンポジウム論文・報告集』.
- ・前田典秀, 2006, 『風をつかんだ町 クリーンエネルギー・自然の財宝を掘り当てた岩手県葛巻町の奇跡』風雲舎.
- ・松井克則, 2011, 「農産物貯蔵における雪氷冷熱エネルギー利用の意義と課題 北海道のアイスシェルター方式を事例として」『農業経済研究報告』42:27-39.
- ・松下圭一, 1990, 『政策型思考と政治』東京大学出版会.
- ・松原隆一郎, 2011, 『日本経済論 「国際競争力」という幻想』NHK 出版新書.
- ・松久寛編, 2012, 『縮小社会への道 原発も経済成長もいらない幸福な社会を目指して』日刊工業新聞社.
- ・松宮朝, 2003, 『地域形成メカニズムの変容と「内発的発展」に関する社会学的研究』北海道大学大学院文学研究科博士学位論文.
- ・松本懿／佐藤吉彦／橋場利夫／山北博明／飯野政一／神原勝, 2006, 『コミュニティビジネスと建設帰農 北海道の事例に日本の先端を学ぶ』公人の友社.
- ・マルクス, K. (花崎皋平訳), 1966, 『新版 ドイツ・イデオロギー』合同出版.
- ・丸山新, 2008, 「克雪から利雪、遊雪へ 上越市安塚区の雪国のまちづくりモデル」『土木学会誌』93(9):28-29.
- ・丸山康司, 2009, 「持続可能なエネルギーを生かす」, 関礼子／中澤秀夫／丸山康司／田中求編, 『環境の社会学』有斐閣, pp.183-201.
- ・丸山康司／船戸修一, 2012, 「玉野井芳郎 『エコノミーとエコロジー 広義の経済学への道』,

- 西城戸誠／船戸修一編、『ブックガイドシリーズ基本の 30 冊 環境と社会』人文書院, pp.112-117.
- ・ 三島均, 2010, 「自然地形を活かした雪堆積場からの自然融解水の冷熱利用事業」『クリーンエネルギー』19(11):13-19.
 - ・ 水谷進, 2003, 「雪冷熱エネルギーを利用した老健施設『コミュニティホーム美唄』」『クリーンエネルギー』12(8):50-55.
 - ・ 見田宗介, 1996, 『現代社会の理論 情報化・消費化社会の現在と未来』岩波新書.
 - ・ 宮川公男／大守隆編, 2004, 『ソーシャル・キャピタル 現代経済社会のガバナンスの基礎』東洋経済新報社.
 - ・ 宮崎隆志／鈴木敏正編, 2006, 『地域社会発展への学びの論理 下川町産業クラスターの挑戦』北樹出版.
 - ・ 宮崎猛編, 2000, 『農と食文化のあるまちづくり』学芸出版社.
 - ・ 宮谷内留雄／安斎保／見野全／佐藤克廣／神原勝, 2007, 『北海道町村会地方自治土曜講座ブックレット 114 北海道の先進事例に学ぶ』公人の友社.
 - ・ 宮本憲一／遠藤宏一編, 1998, 『地域経営と内発的発展 農村と都市の共生を求めて』農文協.
 - ・ 村田武, 2003, 『暮らしのなかの食と農 13 WTO と世界農業』筑波書房ブックレット.
 - ・ 村田武編, 2008, 『地域発・日本農業の再構築』筑波書房.
 - ・ 室田武, 1982, 『水土の経済学 くらしを見つめる共生の思想』紀伊国屋書店.
 - ・ 持田紀治編, 1995, 『むらまち交流と地域活性化』家の光協会.
 - ・ 森田哲明, 2005, 「大規模長期食糧備蓄構想と雪氷冷熱エネルギー」『北方圏』131:21-25.
 - ・ 守友裕一, 1991, 『内発的発展の道 まちづくりむらづくりの論理と展望』農文協.
 - ・ 八木勇二, 1987, 「自らを『日本一の雪国』と名のる町『安塚』」『雪害防災研究発表会梗概集』12:33-36.
 - ・ 安高晋, 2002, 「巨大雪山で冷熱エネルギー活用―北海道沼田町 クリーンで低コスト、食料基地構想も」『地方行政』9430:10.
 - ・ 柳正秀／宇田川陽介／藁谷至誠, 2011, 「データセンタにおける外気冷熱を利用した冷却技術」『電気学会誌』131(7):424-428.
 - ・ 矢野学, 2006, 「インタビュー 『雪のふるさと安塚』は合併でどこに向かうのか 上越市の地域自治区と地域協議会の現実」『都市問題』97(5):29-40.
 - ・ 矢野学, 2008, 「マイナスをプラスに 新潟県上越市安塚区」『農業と経済』74(13):62-65.
 - ・ 山田高史, 2003, 「雪国における雪氷冷熱エネルギーの活用事例と事業化」『日本雪工学会誌』21(5):339-340.
 - ・ 山崎朗編, 2002, 『クラスター戦略』有斐閣.
 - ・ 山崎亮一／三島徳三, 1987, 「農村労働市場における農家労働力の産業予備軍機能 北海道美唄市を対象として」『北海道大学農経論叢』43:25-45.
 - ・ 山下誠／畑澤隆一, 2009, 「都心北融雪層を活用した雪冷熱エネルギー利用実証設備 雪冷熱

- エネルギーの地域熱供給事業への活用」『ゆき』74:33-36.
- ・ 山田定市, 1999, 『農と食の経済と協同 地域づくりと主体形成』日本経済評論社.
 - ・ 山岡影寛, 2007, 「地域素材を生かした環境学習の試み 学校設定科目『環境科学』の実践」(平成19年度高教研理科部会生物分学科会研究発表資料).
 - ・ 除本理史, 2008, 「現代の環境問題と政治経済学 『環境被害の責任と費用負担』を刊行して」『書斎の窓』573:36-40.
 - ・ 除本理史／大島堅一／上園昌武, 2010, 『環境の政治社会学』ミネルヴァ書房.
 - ・ 吉岡斉, 1999=2011, 『新版 原子力の社会史 その日本的展開』朝日新聞出版.
 - ・ 吉岡斉, 2011, 『原発と日本の未来 原子力は温暖化対策の切り札か』岩波ブックレット.
 - ・ 吉田敬一, 2009, 「地域資源を活かした内需型産業振興と地域再生政策」『季刊自治と分権』37:100-112.
 - ・ 吉田文和, 2011, 『グリーン・エコノミー 脱原発と温暖化対策の経済学』中公新書.
 - ・ 吉田文和／池田元美／深見正仁／藤井賢彦編, 2010, 『持続可能な低炭素社会Ⅱ 基礎知識と足元からの地域づくり』北海道大学出版会.
 - ・ 米沢和彦, 2002, 「地域自治体行政と地域活性化 —『まちづくり』『まちおこし』の系譜と展望」, 木下謙治／篠原隆弘／三浦典子編, 『シリーズ〔社会学の現在〕2 地域社会学の現在』ミネルヴァ書房, pp.238-251.
 - ・ 和田武／田浦健朗編, 2007, 『市民・地域が進める地球温暖化防止』学芸出版社.
 - ・ 和田武／木村啓二, 2011, 『拡大する世界の再生可能エネルギー 脱原発時代の到来』世界思想社.
 - ・ 渡辺晴美, 1992, 「利雪農業への取り組み 雪の冷熱エネルギーを利用した町の活性化」『道路』622:35-38.
-
- ・ Baker, W., 2000, *Achieving Success through Social Capital*, San Francisco: Jossey-Bass Inc..
(=中島豊訳, 2001, 『ソーシャル・キャピタル 人と組織の間にある「見えざる資産」を活用する』ダイヤモンド社).
 - ・ Beck, U., 1986, *Risikogesellschaft Auf dem Weg in eine andere Moderne*, Shurkamp. (=東廉／伊藤美登里訳, 1998, 『危険社会 新しい近代への道』法政大学出版局).
 - ・ Beck, U., 1997, *Weltrisikogesellschaft: Weltoffenheit und Globale Subpolitik*, Wien: Picus Verlag. (=島村賢一訳, 2003, 「世界リスク社会、世界公共性、グローバルなサブ政治」『世界リスク社会論 テロ、戦争、自然破壊』平凡社, pp.19-63)
 - ・ Beck, U., 2002, *Das Schweigen der Worte: Über Terror und Krieg*, Suhrkamp, Frankfurt a. M. (=島村賢一訳, 2003, 『世界リスク社会論 テロ、戦争、自然破壊』平凡社, pp.65-141)
 - ・ Beck, U., Giddens, A., and Lash, S., 1994, *Reflexive Modernization: Politics, Tradition and Aesthetics in the Modern Social Order*, Cambridge: Polity Press. (=松尾精文／小幡正敏／叶堂隆三訳, 1997, 『再帰的近代化 近現代における政治、伝統、美的原理』而立書房).

- Dickson, D., 1974, *Alternative Technology and the Politics of Technical Change*, William Collins Sons Co. Ltd.. (=田窪雅文訳, 1980, 『オルターナティブ・テクノロジー 技術変革の政治学』時事通信社).
- Dobson, A., 1990=1995, *Green Political Thought (2nd edition)*, London: Unwin Hyman,. (松野弘監訳／来栖聡／池田寛二／丸山正次訳, 2001, 『緑の政治思想 エコロジズムと社会変革の理論』ミネルヴァ書房).
- Fromm, E., *The Revolution of Hope: Toward a Humanized Technology*, Harper & Row. (=作田啓一／佐野哲郎訳, 1970, 『希望の革命』紀伊國屋書店)
- Garbraith, J.K., 1967, *The New Industrial State*, Boston: Houghton Mifflin Company. (=都留重人監訳, 1968, 『新しい産業国家』河出書房).
- George, S., 1977, *How the Other Half Dies: The Real Reasons for World Hunger*, Harmondsworth: Penguin Books. (=小南祐一郎／谷口真里子訳, 1984, 『なぜ世界の半分が飢えるのか 食糧危機の構造』朝日選書).
- Geertz, C., 1963, *Agricultural Involution: The Processes of Ecological Change in Indonesia*, Berkeley: University of California Press. (=池本幸生訳, 2001, 『インボリユーション 内に向かう発展』NTT出版).
- Geertz, C., 1984, Culture and Social Change: The Indonesian Case, *MAN(New series)*19(4). (=池本幸生訳, 2001, 「文化と社会変容 インドネシアのケース」, 『インボリユーション 内に向かう発展』NTT出版, pp.193-221).
- Harbermas, J., 1968, *Technik und Wissenschaft als >Ideologie<*, Frankfurt: Suhrkamp Verlag. (=長谷川宏訳, 1970=2000, 『イデオロギーとしての科学技術』平凡社ライブラリー).
- Hirschman, A.O., 1984, *Getting Ahead Collectively: Grassroots Experiences in Latin America*, New York: Pergamon Press Inc.. (=矢野修一／宮田剛志／武井泉訳, 2008, 『連帯経済の可能性 ラテンアメリカにおける草の根の経験』法政大学出版局).
- Holmgren, D., 2009, *Future Scenarios: How Communities Can Adapt to Peak Oil and Climate Change*. (=糸長浩司訳, 2010, 『未来のシナリオ ピークオイル・温暖化の時代とパーマカルチャー』農文協).
- Humphery, C.R., & Buttel, F.H., 1982, *Environment, Energy, and Society*, Wadsworth Publishing Co., California, USA (=満田久義／寺田良一／三浦耕吉郎／安立清史訳, 1991, 『環境・エネルギー・社会』ミネルヴァ書房).
- Kapp, W., 1950, *The Social Costs of Private Enterprise*, Cambridge: Harvard University Press. (=篠原泰三訳, 1959, 『私的企業と社会的費用』岩波書店).
- Kelsey, J. ed., 2010, *No Ordinary Deal: Unmasking the Trans-Pacific Partnership Free Trade Agreement*, Wellington: Bridget Williams Books Ltd.. (=環太平洋経済問題研究会／農林中金総合研究所訳, 2011, 『異常な契約 TPPの仮面を剥ぐ』農文協).
- Lovins, A.B., 1977, *Soft Energy Paths: Toward a Durable Peace*, USA: The Friends of Earth

- Inc.. (=室田泰弘／槌屋治紀訳, 1979, 『ソフト・エネルギー・パス 永続的平和への道』時事通信社).
- Marcuse, H., 1971, *One-Dimensional Man: Studies in the Ideology of Advanced Industrial Society*, Boston: Beacon Press. (=生松敬三／三沢謙一訳, 1980, 『一次元的人間 先進産業社会におけるイデオロギーの研究』河出書房新社).
 - Nestle, M., 2002, *Food Politics: How the Food Industry Influences Nutrition and Health*, Berkeley, California: the University of California Press. (=三宅真季子／鈴木真理子訳, 2005, 『フード・ポリティクス 肥満社会と食品産業』新曜社).
 - Norgard, J.S. & Chiristensen B.L., *Energihusholdning Husholdning Hordning, Forfatterne og FDB*, Copenhagen, Denmark. (=飯田哲也訳, 2002, 『エネルギーと私たちの社会 デンマークに学ぶ成熟社会』新評論).
 - Patel, R., 2007, *Stuffed and Starved: The Hidden Battle for the World Food Systems*, Portobello Books Ltd.. (=佐久間智子訳, 2010, 『肥満と飢餓 世界フード・ビジネスの不幸のシステム』作品社).
 - Polanyi, M., 1967, *The Tacit Dimension*, Routledge & Kegan Paul PLC. (=高橋勇夫訳, 2003, 『暗黙知の次元』ちくま学芸文庫).
 - Pollan, M., 2006, *The Omnivore's Dilemma: A Natural History of Four Meals*, The Penguin Press. (=ラッセル秀子訳, 2009, 『雑食動物のジレンマ (上・下) ある4つの食事の自然史』東洋経済新報社).
 - Porter, M., 1998, *On Competition*, Boston: Harvard Business School Press. (=竹内弘高訳, 1999, 『競争戦略論 I・II』ダイヤモンド社).
 - Porter, M., 1998, Clusters and the New Economics of Competition, *Harvard Business Review* 76(6). (=沢崎冬日訳, 1999, 「クラスターが生むグローバル時代の競争優位 イノベーション創出のメカニズムを学ぶ」『Diamond ハーバード・ビジネス』24(2):28-45)
 - Putnam, R.D., 1993, *Making Democracy Work: Civic Traditions in Modern Italy*, New Jersey: Princeton University Press. (=河田潤一訳, 2001, 『哲学する民主主義 伝統と改革の市民的構造』NTT出版).
 - Rouse, J., 1987, *Knowledge and Power: Toward the Philosophy of Science*, Cornell University Press. (=成定薫／網谷祐一／阿曾沼明裕訳, 2000, 『知識と権力 クーン／ハイデッガー／フーコー』法政大学出版局).
 - Schlosser, E., 2001, *Fast Food Nation*, New York: Houghton Mifflin Company. (=楡井浩一訳, 2001, 『ファストフードが世界を食いつくす』草思社).
 - Schlosser, E., 2006, *Chew on This: Everything You Don't Want to Know about Fast Food*, New York: Houghton Mifflin Company. (=宇丹貴代実訳, 2007, 『おいしいハンバーガーのこわい話』草思社).
 - Schumacher, E.F., 1973, *Small is Beautiful: A Study of Economics as if People Mattered*.

(=小島慶三／酒井懋訳, 1986, 『スモール イズ ビューティフル 人間中心の経済学』講談社学術文庫).

- Solomon, S., 2010, *Water: The Epic Struggle for Wealth, Power, and Civilization*, HarperCollins Publishers. (=矢野真千子訳, 2011, 『水が世界を支配する』集英社).
- Wackernagel, M. and W.E. Rees, 1996, *Our Ecological Footprint: Reducing Human Impact on the Earth*, Gabriola Island, British Columbia: New Society Publishers. (=和田喜彦監訳／池田真里訳, 2004, 『エコロジカル・フットプリント 地球環境持続のための実践プランニング・ツール』合同出版).
- Wall, D., 2010, *The No-Nonsense Guide to Green Politics*, New Internationalist Publications Ltd.. (=白井和宏訳, 2011, 『緑の政治ガイドブック 公正で持続可能な社会をつくる』ちくま新書).
- Weber, K. ed., 2010, *Food, Inc.*, USA, Public Affairs, a member of Perseus Books Inc.. (=中小路佳代子訳, 2010, 『フード・インク ごはんがあぶない』武田ランダムハウスジャパン).

<参照 HP>

- IT Pro (日経 BP 社 HP 内) : <http://itpro.nikkeibp.co.jp/index.html>
- 胆振支庁 HP : <http://www.iburi.pref.hokkaido.lg.jp/>
- 岩見沢市 HP : <http://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp/index.html>
- 岩見沢市教育委員会 HP : <http://www2.city.iwamizawa.hokkaido.jp/kyouiku/main/index.html>
- 岩見沢商工会議所 HP : <http://www.iwamizawacci.or.jp/>
- 岩見沢市農業振興ビジョン :
<http://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp/i/sisei/syoku/nougyou.htm>
- 元祖温泉トラフグ HP (株式会社夢創造) : <http://ganso-onsentorahugu.com/>
- 倉田商店 HP : <http://www.office-web.jp/ichigoya-kurata158/>
- 原子力環境整備促進・資金管理センターHP : <http://www.rwmc.or.jp/>
- 原子力百科事典 ATOMICA(高度情報科学技術研究機構 HP 内) : <http://www.rist.or.jp/atomica/>
- 建成産業 HP : <http://www8.ocn.ne.jp/~kensei/>
- コカコーラ環境教育賞 (コカコーラ財団 HP 内) :
<http://www.cocacola-zaidan.jp/activity/env-prize/index.html>
- 貞広農場 HP : <http://sadahiro-noujou.jp/>
- 資源エネルギー庁 HP : <http://www.enecho.meti.go.jp/>
- 社会福祉法人恵和会 HP : <http://www.b-keiwakai.or.jp/index.html>
- 新エネルギー財団 HP : <http://www.nef.or.jp/>
- 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) HP : <http://www.nedo.go.jp/>
- 神内ファーム 21HP : <http://www.jinnaifarm21.co.jp/>
- 新日本空調 HP : <http://www.snk.co.jp/>

- ・石油情報センターHP : <http://oil-info.ieej.or.jp/>
- ・全国地球温暖化防止活動推進センター（JCCCA）HP : <http://www.jccca.org>
- ・空知支庁 HP : <http://www.sorachi.pref.hokkaido.lg.jp/>
- ・「大規模建築物における雪冷房システムの効果・検証について（永井宏明／飯塚和志）」，第 52 回（平成 20 年度）北海道開発技術研究発表会報告原稿（北海道開発局 HP 内）：
http://www.hkd.mlit.go.jp/topics/gijyutu/giken/h20_pre_intra/pdf_files_h20/gijutsu/GT-71.pdf
- ・大規模長期食糧備蓄基地構想推進協議会 HP : <http://www.shokubi.jp/>
- ・『『地域』に学び、『雪』を生かすエネルギー環境教育 上越市立安塚中学校』（新潟県 HP）：
www.pref-niigata.com/kankyokyoiku/img/jirei/h19/yasuduka_t.pdf
- ・中小企業基盤整備機構 HP「産業用地ナビゲーター」：
<http://www.smrj.go.jp/sy-navi/area/hokkaido/hokkaido/02dou/index.html>
- ・電源開発 HP : <http://www.jpowers.co.jp/>
- ・十勝毎日新聞 HP : <http://www.tokachi.co.jp/>
- ・内閣府 HP「防災情報のページ」 : <http://www.bousai.go.jp/>
- ・菜の花プロジェクトネットワーク HP : <http://www.nanohana.gr.jp/index.php>
- ・新潟県 HP : <http://www.pref.niigata.lg.jp/>
- ・日本原子力発電 HP : <http://www.japc.co.jp/>
- ・日本原燃 HP : <http://www.jnfl.co.jp/>
- ・沼田小学校 HP : <http://www.n-numata-es.gsn.ed.jp/>
- ・沼田中学校（沼田町 HP 内）：
<http://www.town.numata.hokkaido.jp/kyouiku/gakkoukyoiku/chugakko>
- ・沼田町 HP : <http://www.town.numata.hokkaido.jp/>
- ・農林水産省 HP : <http://www.maff.go.jp/>
- ・農林水産省九州農政局 HP : <http://www.maff.go.jp/kyusyu/>
- ・農林水産省 HP「わがマチ・わがムラ 市町村の姿」 : <http://www.machimura.maff.go.jp/machi/>
- ・美唄市 HP : <http://www.city.bibai.hokkaido.jp/>
- ・美唄市教育委員会 HP : <http://www.city.bibai.hokkaido.jp/kyouikuHP/>
- ・びばいし グリーン・ルネサンス HP（教育委員会 HP 内）：
<http://www.city.bibai.hokkaido.jp/g-rune/>
- ・美唄自然エネルギー研究会 HP : <http://www.net-bibai.co.jp/eneken/>
- ・美唄市農業協同組合（JA びばい）HP : <http://www.ja-bibai.or.jp/>
- ・福島県環境共生建築計画・設計指針（福島県HP内）：
<http://www.pref.fukushima.jp/kenchiku/data/eisetsu/den/kankyofuka/sisin2.pdf>
- ・フードマイレージ資料室 HP：
<http://members3.jcom.home.ne.jp/foodmileage/fmtop.index.html>
- ・PLARAD レンタル HP : <http://www.plarad-rent.net/wind-power/list.html>

- ・米穀安定供給確保支援機構 HP : <http://www.komenet.jp/>
- ・株式会社北立 Brog : <http://www.ganken.jp/hokuritu/>
- ・北海道教育大学 HP : <http://www.hokkyodai.ac.jp/>
- ・北海道経済産業局 HP : <http://www.hkd.meti.go.jp/>
- ・北海道新聞データベース : <http://www.hokkaido-np.co.jp/>
- ・北海道閉山炭鉱表 : <http://www.geocities.co.jp/Athlete-Crete/9483/gyosei/jinko/heizan.html>
- ・北海道立岩見沢農業高校 HP : <http://www.gannou.ed.jp/>
- ・北海道雪たんけん館 : <http://yukipro.sap.hokkyodai.ac.jp/>
- ・峰延農業協同組合（JA みねのぶ）HP : <http://www.ja-minenobu.or.jp/>
- ・宮工建株式会社 HP : <http://miyakouken.com/>
- ・室蘭工業大学 HP : <http://www.muroran-it.ac.jp/syomu/mit/mit3/mitno3-2.htm>
- ・役場あんどん連 HP : <http://www.youtaka.net/>
- ・安塚小学校 HP : www.yasuzuka-e.jorne.ed.jp/
- ・安塚小学校「エネルギー環境教育実践」（安塚小学校 HP 内）:
<http://www.yasuzuka-e.jorne.ed.jp/enekan/enekantop.htm>
- ・夕張ウォーカー（夕張観光案内センターHP） : <http://www.yubari-walker.com/>
- ・雪センターHP : <http://www.yukicenter.or.jp/>
- ・雪だるま財団 HP : <http://www.yukidaruma.or.jp/ZAIDAN/>
- ・わがマチ・わがムラー市町村の姿―（農林水産省 HP 内） :
<http://www.machimura.maff.go.jp/machi/index.html>